



シームレスラインライト 汎用

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

■安全に関する記号と説明



警告

・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。



注意

・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

■情報に関する記号と説明

施工上のお願い

・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。

・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

■ねじ等の締結部品の記号

ねじやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2a等)

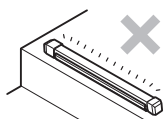
締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

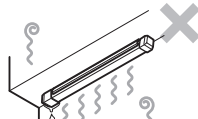
□施工の前に

▲注意

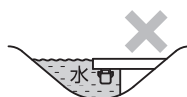
- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 灯具本体が紫外線や雨から直接影響を受ける箇所への取付けはしないでください。
- シームレスラインライトは上向き、くぼ地等の水がたまる場所、浴室などの湿気が多い場所、草、木などが成長して器具がおおわれたり、落ち葉がたまるような場所には設置しないでください。器具の破損、ショートなどによる思わぬ事故や感電によるケガのおそれがあります。
- ねじは当社純正品の指定本数を使い、下記締付トルクで固定した後に緩みがないか確認してください。
<推奨トルク>φ4ねじ:1.5N・m±0.5N・m
(15±5kgf・cm)



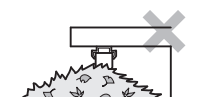
上向き



湿気が多い場所



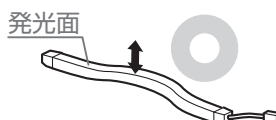
水がたまる場所



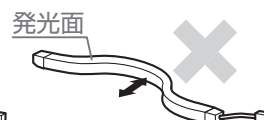
落ち葉がたまる場所

▲注意

- 鋭角に曲げないでください。
※最小曲げ半径は300mmです。
- 踏みつけたり、発光面を強く押さないでください。
- 両面から追い込みをしないでください。(レールへの取付時)
- ねじったり、強く引っ張らないでください。
- 曲げる方向に注意してください。



発光面



発光面

施工の前に

つづき

▲ 注意

■ 灯具を現場で切詰める場合

- 止水性を確保するため、下の当社指定の接着剤またはシーリング材を使用してください。

メーカー	品番または品名
信越化学工業(株)	KE-45-T (クリア)
セメダイン(株)	スーパーX (クリア)

- 当社指定の接着剤以外を使用すると、止水性が保持できず器具内に浸水し、故障、感電のおそれがあります。

- 施工前に右の二次元コードより施工上の注意点を確認してください。

施工説明動画



施工上のお願い

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工場所の寸法に製品が正しく納まるか確認してください。
- シーリング材はクリア色を使用してください。切詰め用キャップ部が変色し意匠性が低下することがあります。

施工上のご注意

▲ 注意

- ねじは当社指定品の指定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。

施工上のご注意

つづき

施工上のお願い

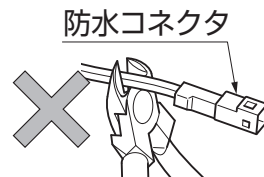
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。

電気配線工事について

▲ 注意

- DC12V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電の原因になります。
- 別売りの当社製トランス電源ユニット・電源ケーブルと組合わせて使用してください。

- 防水コネクタを切断するなどの加工は行わないでください。故障・感電のおそれがあります。



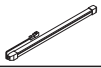

- 施工作業中は通電させないでください。故障・感電のおそれがあります。







施工チェックシート



※施工時に下記を必ずご確認ください。この項目を守らないと不具合発生につながります。




No.	確認項目	施工後チェック (○/×)	不具合現象
1	灯具切詰め時は当社指定のシーリング材、接着剤を使用しましたか？		水の侵入による不点灯のおそれがあります。
2	灯具の防水コネクタは切断していませんか？		故障や不点灯のおそれがあります。



梱包明細表


【1】 シームレスラインライト		
名称	略 図	員 数
シームレスラインライト		1
切詰め用キャップ ※現場カットしない場合は不要		1
取付説明書【EXM-123】	—	1
取扱説明書【UZ287】	—	1

【2】 シームレスラインライト 配光レール			
名称	略 図	員 数	
		L2000	L3000
照明枠カバー		1	1
照明枠ベース		1	1
【2a】φ4×25ナベセルフタップ アンカーねじ		6	8
結束バンド		1	1
連結隠しシール		1	1
ケーブルブッシュ		2	2

【3】 シームレスラインライト 配光レール 端部キャップ		
名称	略 図	員 数
端部キャップ		2
【3a】φ4×10サラタツピンねじ3種		2

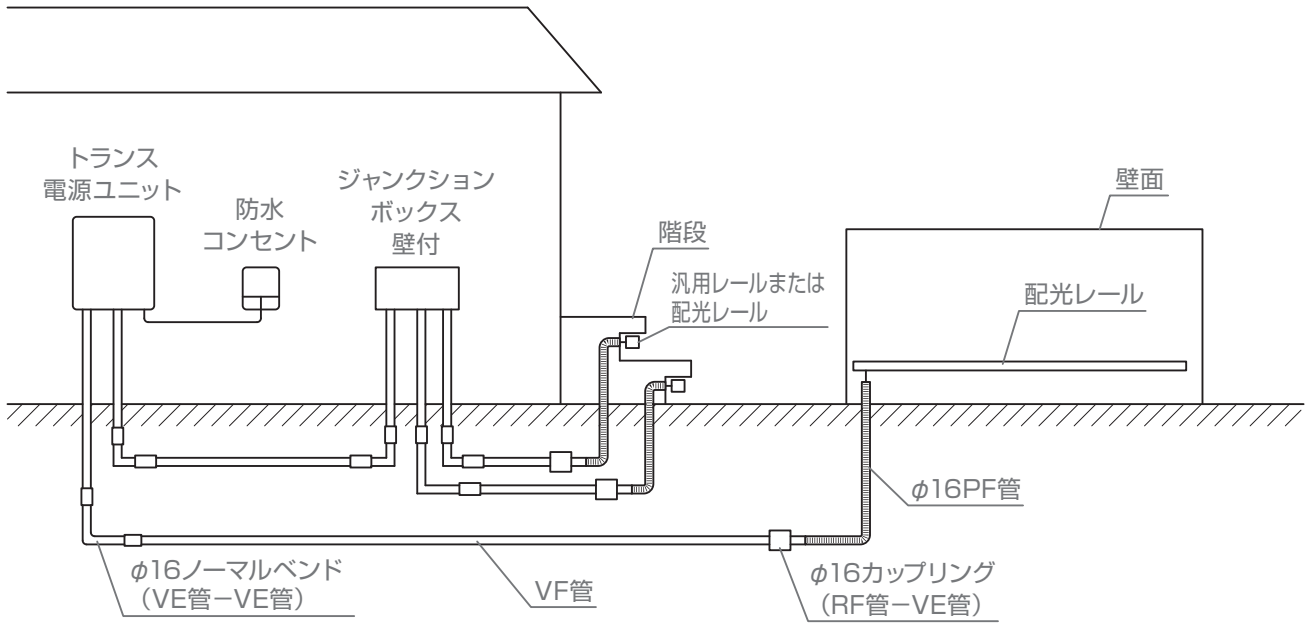
【4】 シームレスラインライト 汎用レール			
名称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
汎用レール L1000		2	3
【4a】φ4×25ナベセルフタップ アンカーねじ		7	10
結束バンド		1	1

【5】 シームレスラインライト 曲線部品		
名称	略 図	員 数
シームレスラインライトクリップ		15
【5a】φ4×25ナベセルフタップ アンカーねじ		15

【6】 シームレスラインライト 切詰め用キャップ ※追加手配が必要な場合		
名称	略 図	員 数
切詰め用キャップ		2
取付説明書【EXM-125】	—	1

1 配線参考図

1: 現場に合わせて配線・配管を敷設してください。

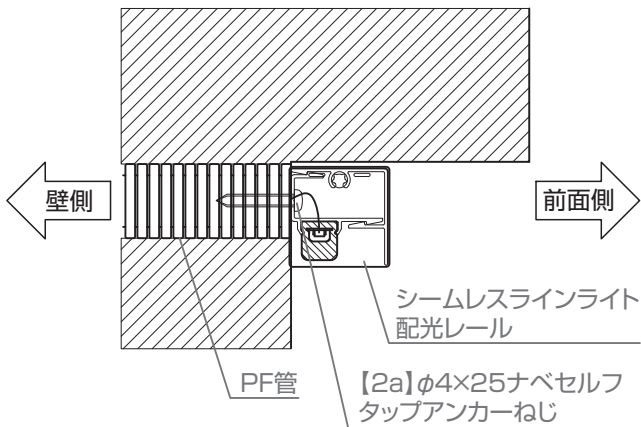


施工例 ※取付位置の寸法などは各説明ページをご参照ください

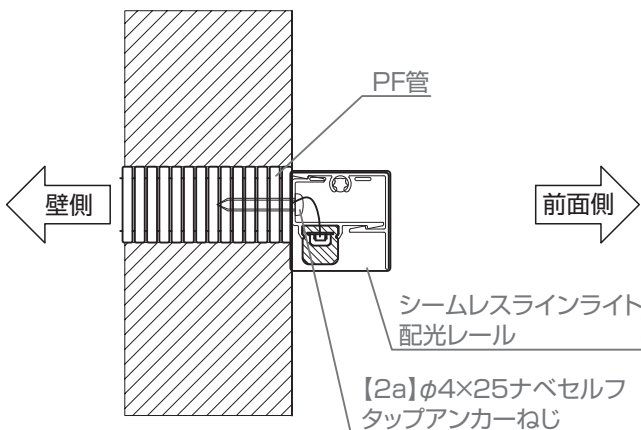
3-1 配光レール(P.5~)

※配光レールは階段下と壁面に取付可能

■階段の場合



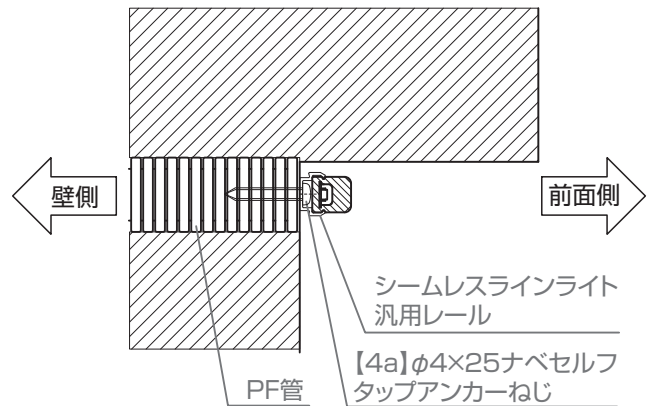
■壁面の場合



4-1 汎用レール(P.8~)

※汎用レールは階段下のみ取付可能

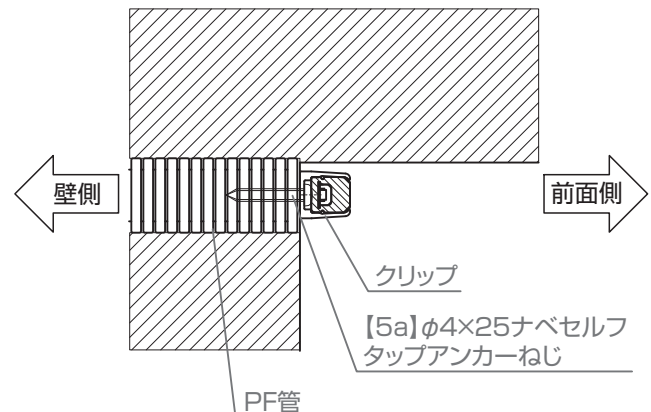
※下向き固定も可能



5-1 曲線部品(P.9~)

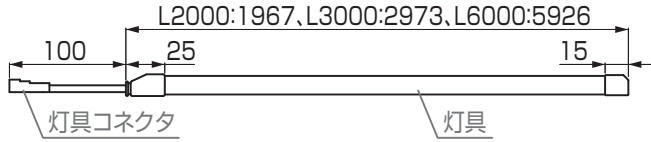
※汎用レールは階段下のみ取付可能

※最大R300までの曲線部へ取付可能

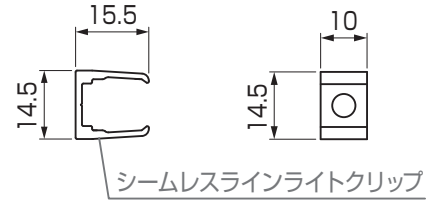


2 基本寸法と各部の名称

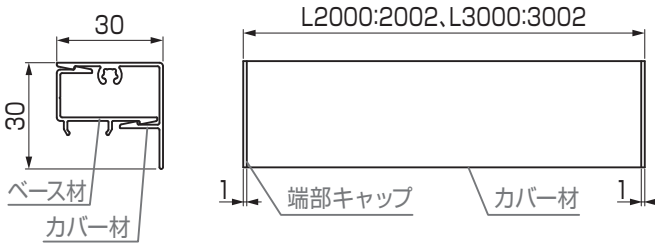
2-1 シームレスラインライト



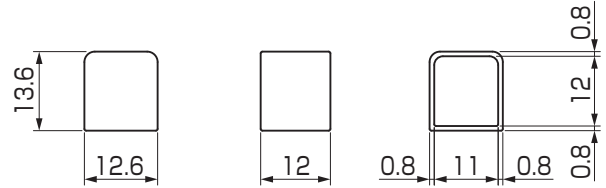
2-4 曲線部品



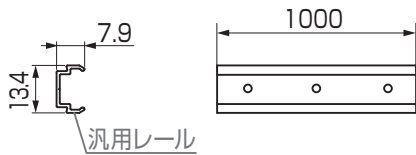
2-2 配光レール



2-5 切詰め用キャップ



2-3 汎用レール

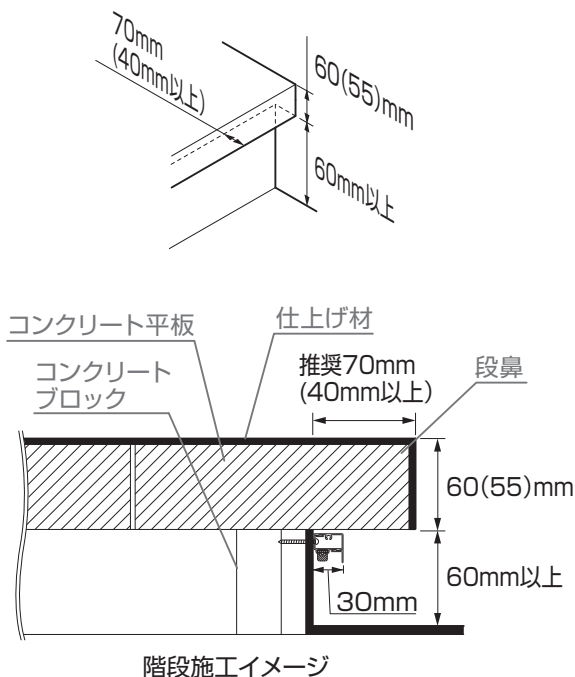


3 配光レールの設置

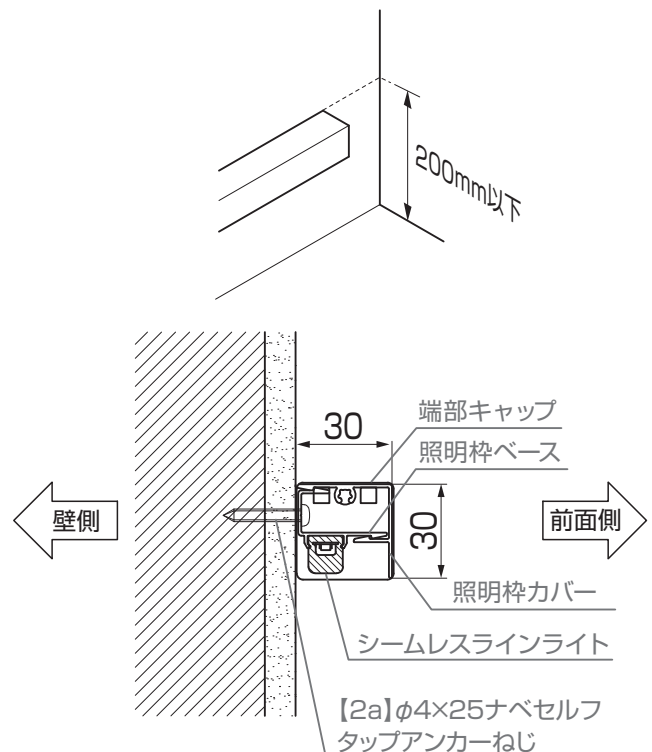
3-1 取付位置の確認

1: シームレスラインライトの取付けが可能な場所となっているか確認

■階段下の場合



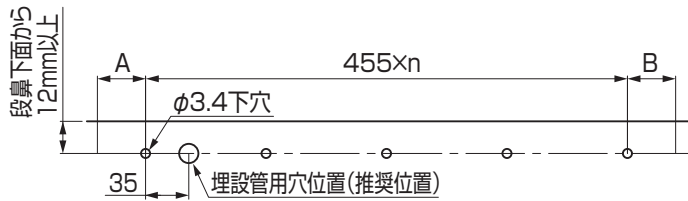
■壁付けの場合



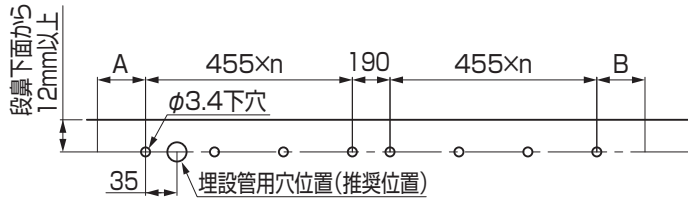
3 配光レールの設置 (階段下の例)

3-2 下穴加工+配線の引き出し

※以下イラストはL2000の場合です。
 ※A,B寸法以上を必ず確保してください。確保しないとカバー材の取付けができなくなります。



※以下イラストはL6000の場合です。(配光レールL3000を2本使用)

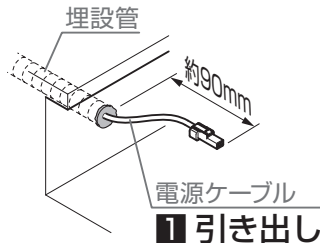


	L2000	L3000	L6000
A	110	155	190
B	75	120	
C	50	35	
n	5	7	7

施工上のお願い

- ベース材とカバー材は灯具端部の納まり上、長さが異なりますので、必ず、隙間寸法を確認してから下穴加工、配線をお願いします。

1: ワイヤーなどを使用して埋設管から電源ケーブルを引き出し



施工上のお願い

- 配線穴加工位置は推奨位置になります。現場の配線位置によってベース材配線用穴位置寸法が変わりますので、ご注意ください。

2: ベース材固定用として取付面にφ3.4の下穴加工(深さ:25mm以上)

施工上のお願い

- 配線の引き出し位置は推奨となります。現場で変更する場合は配線用穴加工は現場にて検討ください。

3-3 部材の準備

- 1: カバー材を以下の寸法に切断
- 2: 灯具が特注サイズまたは現場で切詰めた場合、ベース材、カバー材を切断
 ※形材を2本使用する場合は1本のみを切断します。

規格サイズ

灯具サイズ	規格形材長さ		形材切断長さ (E)	
	ベース材	カバー材	ベース材	カバー材
L2000	1920	2000	0	0
L3000	2920	3000	0	0
L6000	2920×2	3000×2	0	50

特注サイズ

切詰め後灯具長さ	切詰め後長さ 計算式	
	ベース材	カバー材
L1~L1967	1920-F-20	2000-F
L1968~L2973	2920-F-20	3000-F
L2974~L3905	1920×2-F+2000	2000×2-(F+50)+2000
L3906~L4905	2920+1920-F+1000	3000+2000-(F+50)+1000
L4906~L5926	2920×2-F	3000×2-(F+50)

F = 切断長さ

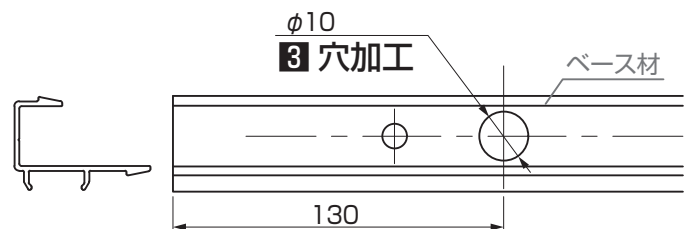
現場にてL6000規格品サイズから1500mm切詰めたい時

灯具長さ	5926-1500=4426mm →コネクタ側のカットラインでカットした場合:4407mm
ベース材長さ	2920+1920-1500+1000=4340
カバー材長さ	3000+2000-(1500+50)+1000=4450

施工上のお願い

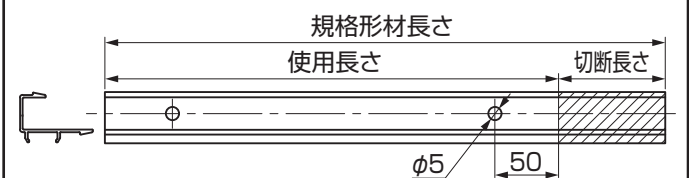
- 灯具を切断する場合は10/12ページをご参照ください。

3: ベース材の端部から130mmに配線用としてφ10の穴加工



施工上のお願い

- 配線穴加工位置は推奨位置になります。現場の配線位置によって寸法が変わりますので、ご注意ください。
- 特注サイズの場合、ベース材にφ5の穴加工をしてください。



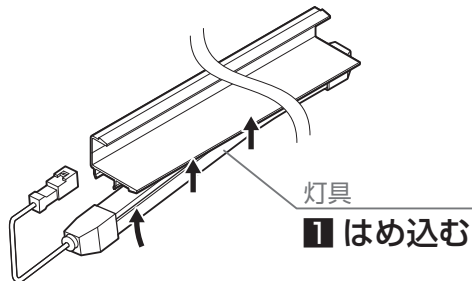
3 配光レールの設置

3-4 灯具の取付け

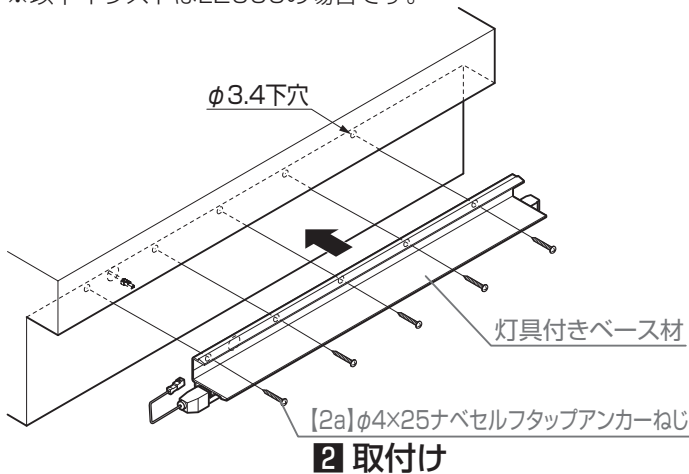
1: ベース材へ灯具本体をはめ込む

施工上のお願い

- コネクタ側に隙間を作るため、端部から灯具をはめ込んでください。



2: ベース材を取付面へ[2a]で取付け
※以下イラストはL2000の場合です。

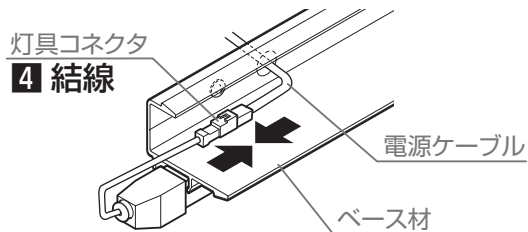


3: ベース材に加工した穴(φ10)へ電源ケーブルを挿込む

施工上のお願い

- 電源ケーブルの白黒線が配線用穴に接触する場合はケーブルにケーブルブッシュを通し、ブッシュをベース材へ取付けてください。

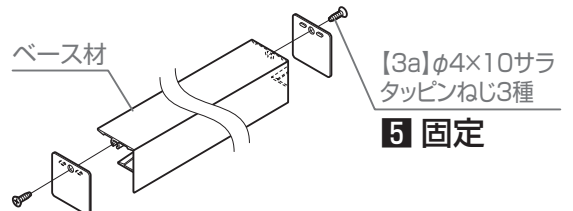
4: 電源ケーブルと灯具コネクタを結線



5: カバー材へ端部キャップを手締めで固定

施工上のお願い

- 端部キャップの突起面を形材側にして固定してください。
- 固定の際は手締めで締め付けてください。

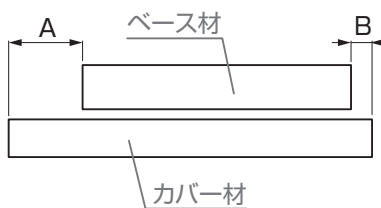


6: ベース材とカバー材の空き寸法を確認

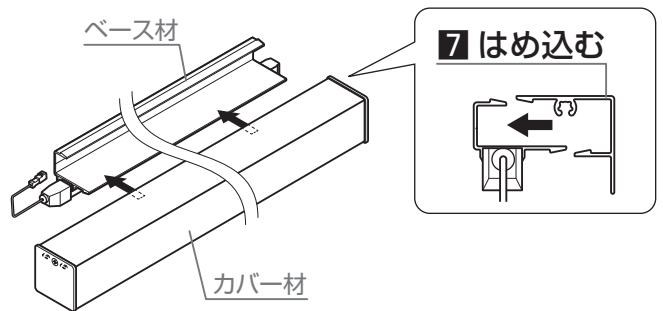
施工上のお願い

- 配線経路、熱膨張の関係で隙間をあけてはめ込んでください。

7: ベース材へカバー材をはめ込む

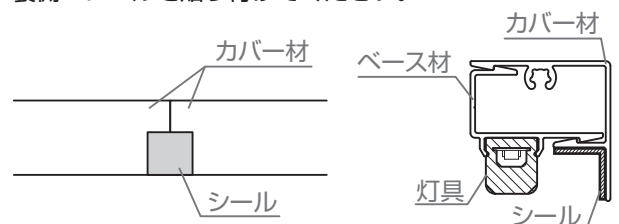


	L2000	L3000	L6000
A	56	59	90
B	24	21	20



施工上のお願い

- カバー材を2本使用する場合は付属のシールをカットして、カバー材の突き当て部へ光が漏れないようにカバー材の裏側へシールを貼り付けてください。



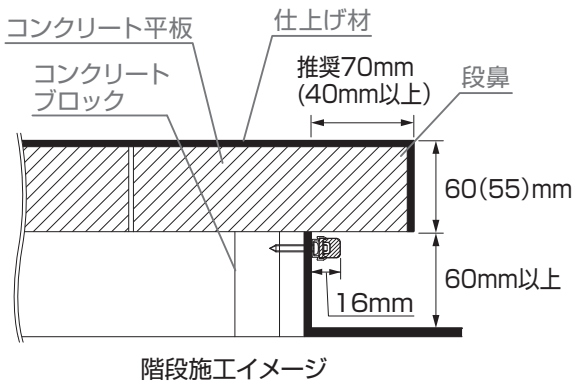
3-5 点灯確認

1: 施工後点灯確認を実施

4 汎用レールの設置

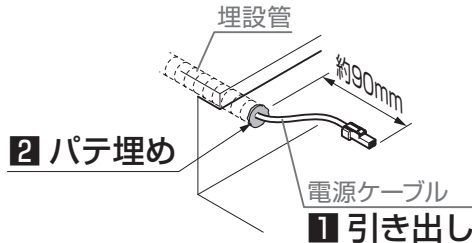
4-1 取付位置の確認

1: 汎用レールの取付けが可能な階段けり込みになっているか確認

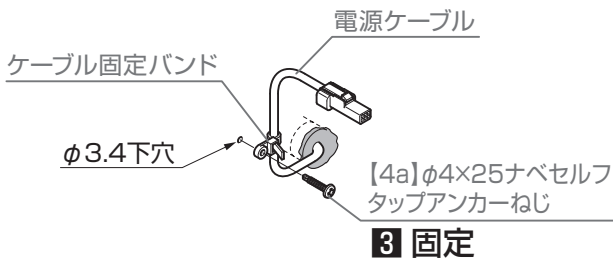


4-2 配管工事 ※地上配管の場合、本手順は対象外です。

- 1: ワイヤーなどを使用して埋設管から電源ケーブルを引き出し
- 2: 埋設管の先端に水が浸入しないようにパテ埋め



3: 埋設管の側に下穴φ3.4をあけて、電源ケーブルをケーブル固定バンドを使い【4a】で固定



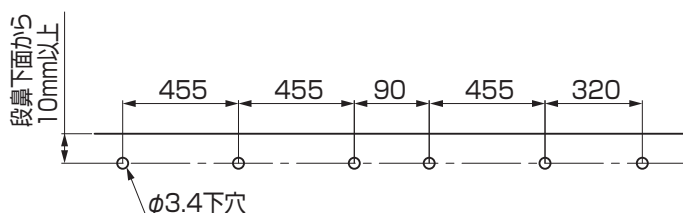
施工上のお願い

●配線の引き出し位置は推奨となります。現場で変更する場合は配線用穴加工は現場にて検討ください。

4-3 下穴加工

※以下の寸法はL2000の場合です。

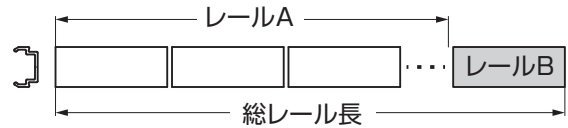
1: 使用する長さを確認しベース材固定用として取付面にφ3.4の下穴加工(深さ:25mm以上)



4-4 部材の準備

施工上のお願い

●汎用レールは1列に対して複数本組合わせて使用します。カット不要のレールをA、カットが必要なレールをBとし、灯具の長さに合わせて必要数を確認してください。



■レール納入寸法: 1000

呼称	ライト長さ	汎用レールサイズ	レールB切断長さ
L2000	1967	1000×2	90
L3000	2973	1000×3	
L6000	5926	1000×6	130

■特注の場合

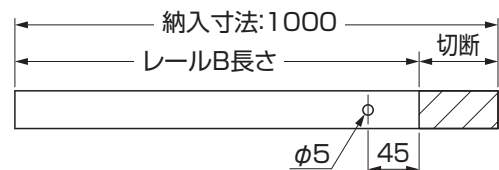
ライト長さ(mm)	汎用レール長さ(mm)
L100~L5900	1000×N-(F+100)

・N=レール員数、F=灯具切断長さ

■現場にてL6000規格品サイズから1500mm切詰めたい時

灯具長さ	5926-1500=4426mm →コネクタ側のカットラインでカットした場合:4407mm
汎用レール長さ	1000×6-(5926-4407+100)=4381mm

- 1: 灯具の長さに合わせてレールBを切断
- 2: レールBの切断部より45mmの位置へφ5の穴加工

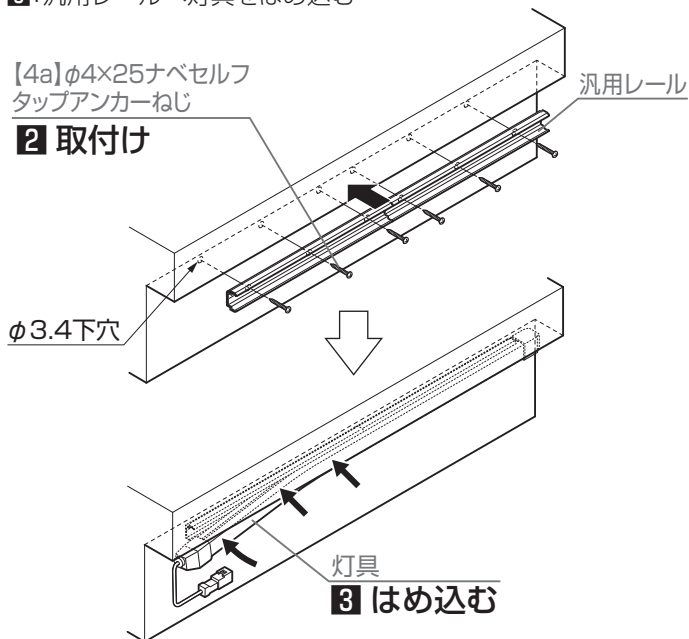


4 汎用レールの設置

4-5 汎用レールの取付け

2: ベース材を取付面へ【4a】で取付け

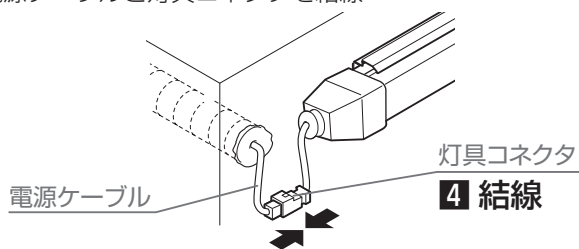
3: 汎用レールへ灯具をはめ込む



施工上のお願い

- コネクタ側に隙間を作るため、端部から灯具をはめ込んでください。

4: 電源ケーブルと灯具コネクタを結線



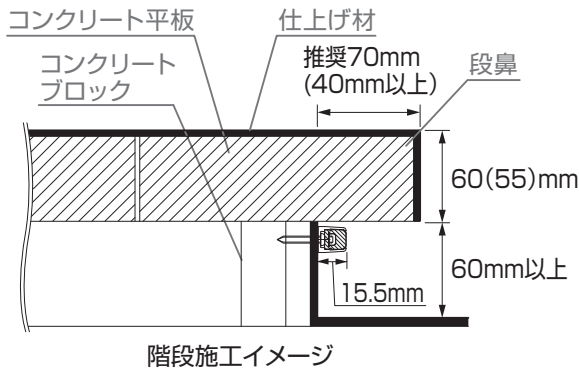
4-6 点灯確認

1: 施工後点灯確認を実施

5 曲線部品の設置

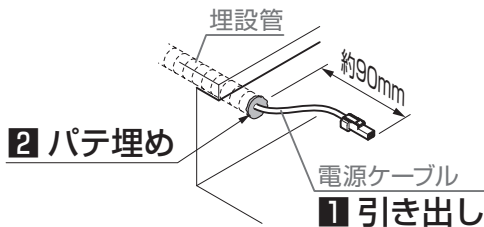
5-1 取付位置の確認

1: 汎用レールの取付けが可能な階段けり込みになっているか確認

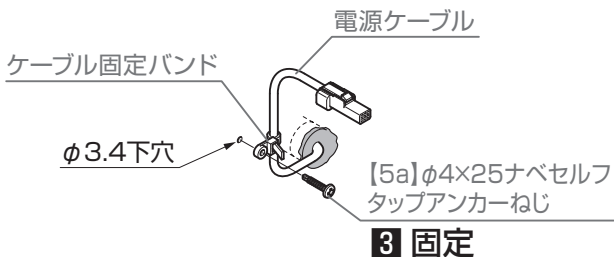


5-2 配管工事 ※地上配管の場合、本手順は対象外です。

- 1: ワイヤーなどを使用して埋設管から電源ケーブルを引き出し
- 2: 埋設管の先端に水が浸入しないようにパテ埋め



3: 埋設管の側に下穴φ3.4をあけて、電源ケーブルをケーブル固定バンドを使い【5a】で固定



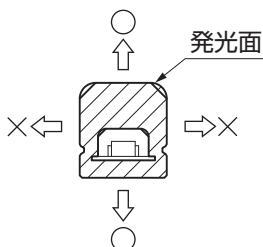
施工上のお願い

- 配線の引き出し位置は推奨となります。現場で変更する場合は配線用穴加工は現場にて検討ください。

5-3 曲線部品の取付け

施工上のお願い

- 設置前に灯具を電源ケーブルに結線し、設置する曲線部と同じような角度に灯具を曲げ灯具が点灯するか確認してください。不点灯となる場合、設置する曲線部を灯具が点灯する角度に調節してください。
- 灯具を曲げる場合は、点灯部を上として上下方向以外に曲げないでください。左右に曲げた場合、不点灯の原因となります。



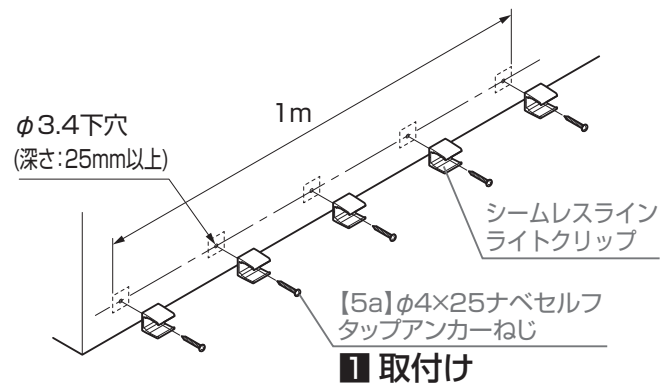
5-3 曲線部品の取付け

つづき

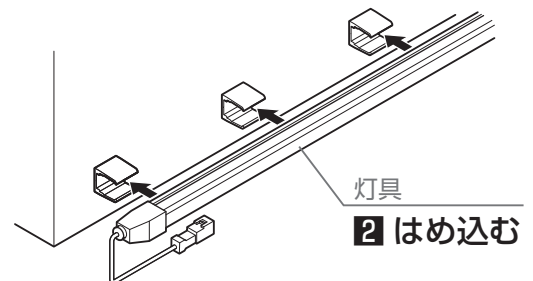
1: 曲線部品を取付面へ【5a】で取付け

施工上のお願い

- 曲線部品は1mに対して5個(均等割)で取付けてください。

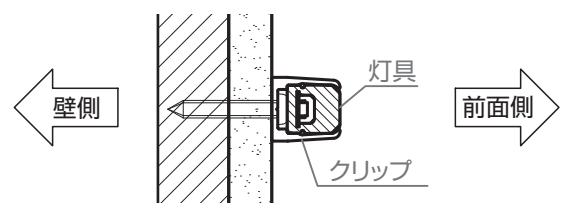


2: クリップへ灯具をはめ込む

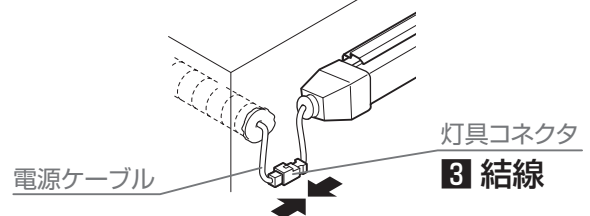


施工上のお願い

- 取付向きに注意してください。



3: 電源ケーブルと灯具コネクタを結線



5-4 点灯確認

1: 施工後点灯確認を実施

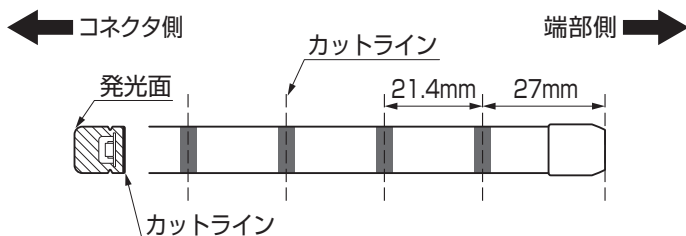
6 灯具の切詰め

6-1 灯具の切取り

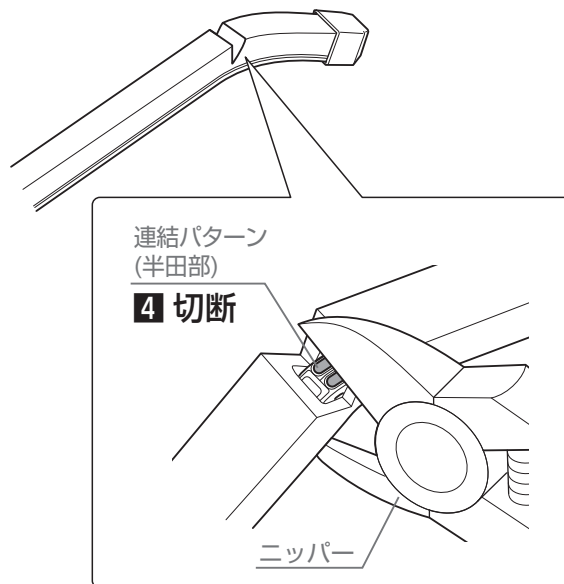
- 1: 灯具の切断したい長さを確認
- 2: 切断したい長さの発光面裏側のカットライン(黒いライン)を確認し、切断位置を決定

施工上のお願い

- 灯具は21.4mm単位でカットが可能です。
- 切断位置は切断したい長さの最もコネクタ側に近いカットラインをカットしてください。

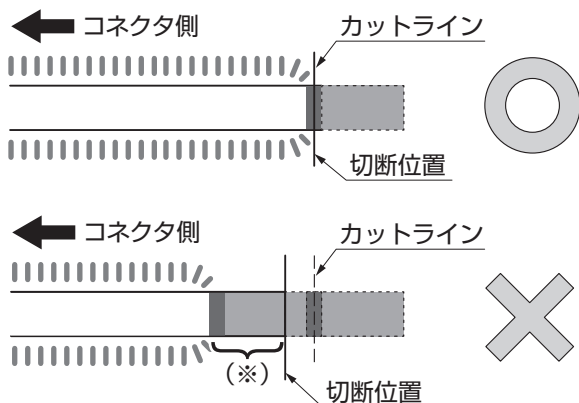


- 4: 連結パターン(半田部)をニッパーで切断



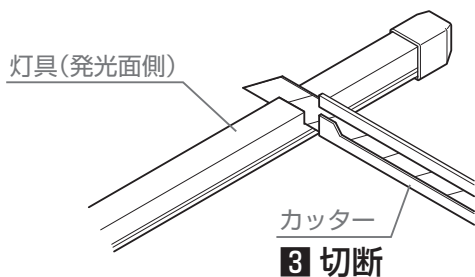
施工上のお願い

- 施工作業中は通電させないでください。故障・感電のおそれがあります。
- カットライン上で切断し、切詰めを行ってください。カットラインからズレて切断してしまうと、不点灯部が広くなってしまい意匠性の低下につながります。



カットラインよりコネクタ側を切断すると不点灯部(*)が広がりますが、性能上問題ありません。

- 3: 切断位置を確認し、ラインに合わせてカッターで発光面からLED基板に当たる深さまでまっすぐ切断



施工上のお願い

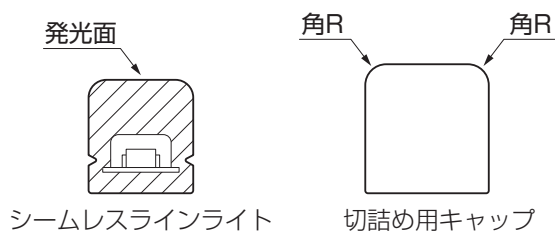
- 切断した端部側の部材は使用できません。

6 灯具の切詰め

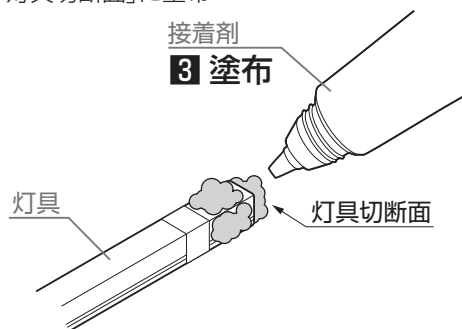
6-2 切詰め用キャップの取付け

⚠ 注意

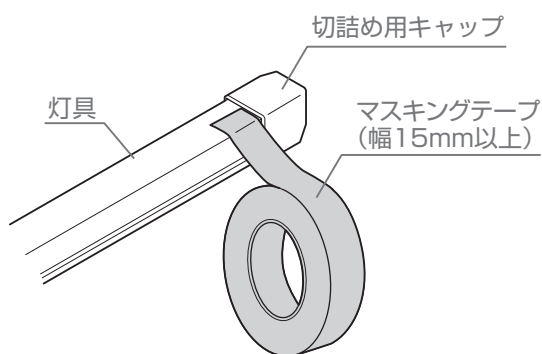
- キャップには向きがあります。角Rが発光面の上面に合うようにしてください。以下の向きで正しく施工しないと止水性の低下につながります。



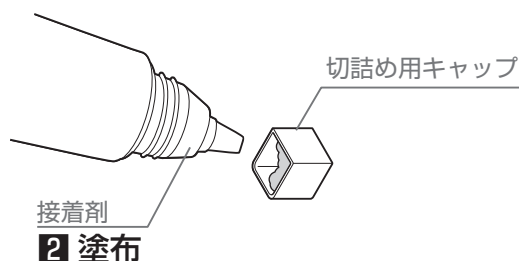
- ③: 接着剤またはシーリング材を、キャップの「取付部の灯具側面」と「灯具切断面」に塗布



- ①: キャップを仮組し、キャップの際にマスキングテープを灯具に巻く



- ②: 接着剤またはシーリング材を切詰め用キャップの深さの約5割まで塗布

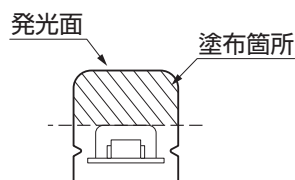


施工上のお願い

- キャップ角に塗布しながらキャップ内の隙間を埋めてください。

施工上のお願い

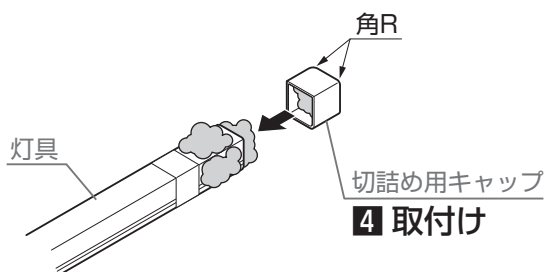
- 以下の灯具切断面に塗布してください。LED基板空間内に入ると光が白色化しますが性能上問題ありません。



- ④: キャップの取付向きを注意しながら切詰め用キャップを切断箇所に取付け

- ⑤: はみ出した接着剤やシーリング材はへらなどで取除く

- ⑥: 完全に硬化する前にマスキングテープを取除く



⚠ 注意

- 当社指定のクリア色のシーリング材または接着剤をご使用ください。

メーカー	品番または品名
信越化学工業(株)	KE-45-T (クリア)
セメダイン(株)	スーパーX (クリア)

- 硬化時間などの詳細については接着剤またはシーリング材の硬化時間を確認してください。

- 完全硬化前に触らないでください。完全硬化前に施工してしまうと止水性が確保できず、故障、感電のおそれがあります。

取説コード

EXM-123

JZZ638990
202401_1049